

グレード6

グレード5までの内容に加えて、和声の範囲が次のようになります：

- ・ 長調、短調(和声的、旋律的)の音階における全ての $\frac{5}{3}$ 、 $\frac{6}{3}$ と $\frac{6}{4}$ (基本形、第一転回形と第二転回形)の和音
- ・ 全ての長調、短調における属七の和音の基本形、第一転回形、第二転回形、第三転回形の認識
- ・ 全ての長調、短調における二度上の七和音の基本形、第一転回形の認識
- ・ 上記の全ての和音を含む数字付き低音(通奏低音)の実習
- ・ 転調の原則の理解、終止形、および装飾音や非和声音(経過音、補助音、倚音、逸音、先取音などを含む)に関する知識

課題は次の内容を含みます：

4小節程度の指定されたバスを基に、4声体の混声4部合唱のスコア、またはピアノ譜(大譜表)として(受検者が選択)和声を構築する課題。

全ての調における8小節の全音階的旋律の伴奏を和声付けする課題。音符による和声の記譜、または数字付きバスの記入(受検者が選択)

指定された楽器(選択肢あり)での旋律の創作課題。冒頭部分に続け、属調、下屬調、平行調への転調を含む。

ピアノ、混声4部合唱、またはさまざまな合奏曲(声楽も含む)のスコア・リーディングとそれらに関する知識についての問題。スコア上における装飾音の奏法や和声の判別、楽曲構成、様式、演奏、使用されている楽器に関する諸問題を含む。

グレード7

グレード6までの内容に加えて、次の内容が含まれます：

- ・ 全ての長調、短調における音階上の四和音とその転回形
- ・ ナポリの六と減七の和音
- ・ 1620-1790年代作曲家が一般的に使用していた通奏低音のバス課題の実習。

課題は次の内容を含みます：

与えられたバスおよび旋律(ソプラノ)に和声付けし、内声部の動きを書き入れる。

掛留音などの非和声音を含め、与えられたパッセージを書き直す。

与えられた冒頭に続けて、ピアノ伴奏の付いたソロ楽器の旋律を創作する、又は与えられた和声進行か旋律の一部に合わせて指定されたソロ楽器の旋律を作成する。

ピアノ譜、または混声合唱のオープン・スコア、または声楽を含むアンサンブル・スコアからの抜粋より設問。装飾記号の奏法や和音分析、楽句の構成、様式、声楽や楽器の演奏法を含め、楽曲分析や読譜力の知識が広く問われる。

グレード8

グレード7までの内容に加えて、和声上の範囲がさらに拡がり、全音階的音階、半音階的音階におけるすべての和音が含まれます。

与えられた冒頭部分に続けての創作課題。出題はバロック様式のトリオ・ソナタで、編成はト音記号で記譜される2つの楽器と通奏低音。

鍵盤楽器のための短い楽曲の、抜けている部分を書いて楽譜を完成させる。ハイドン以降の時代の作曲技法の知識を要する。

与えられた曲の冒頭部分に続けて、旋律を創作（楽器の選択肢あり）。

ピアノ譜、または混声合唱のオープン・スコア、または声楽を含むアンサンブル・スコアからの抜粋より設問。装飾記号の奏法や和音分析、楽句の構成、様式、声楽や楽器の演奏法を含め、楽曲分析や読譜力の知識が広く問われる。